

# 電源を入れる前に

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本サーバには、OSのインストールから必須のソフトウェア、ドライバ類を簡単にインストールできる「ServerStart」が添付されています。

本書は、ServerStartを使ってセットアップするときの設置から運用までの流れを示しています。

カスタムメイドサービスで製品をご購入された場合は、「PRIMERGY R450カスタムメイドサービス実装・設定情報」を参照してください。

なお、OSインストールタイプをご購入された場合は、「PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き」を併せて参照してください。

## 重要 OSインストールタイプをご購入の方へ

電源を入れた後すぐに、必ずServerStart CDをセットしてください。

その際『PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き』を参照して、手順に従って開封作業を行ってください。開封手順以外の方法では、OSの設定が正しく行われず予期しないトラブルを発生する場合があります。

## セットアップの流れ

1. 梱包物／添付品／各部の名称を確認する
2. 設置場所を確認する
3. 内蔵オプションを取り付ける
4. 周辺装置を取り付ける
5. 電源を入れて、ハードウェアを設定する
6. OSと必須ソフトウェアをインストールする
7. 電源を切る／残ったオプションを取り付ける
8. システム設定情報を退避する
9. 運用開始

## 1 梱包物／添付品／各部の名称を確認する

チェック欄 ☐

### 梱包物／添付品の確認

#### 本サーバのマニュアル

- ☐ 取扱説明書
- ☐ セットアップガイド(本書)
- ☐ 保証書

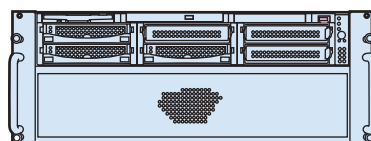


#### 内蔵オプション接続時に必要なもの

- ☐ 汎用ラベル (5枚一組×2)

#### 本体設置に必要なもの

- ☐ 電源ケーブル (本体装置用)
- ☐ ACアダプタ (リモートサービスコントローラ用)



☐ 本体装置

#### 各種ユーティリティ設定／確認時、およびOSと必須ソフトウェアのインストールに必要なもの

- ☐ ServerStart CD
- ☐ PRIMERGY ソフトウェアガイド
- ☐ ServerView CD
- ☐ REMCSエージェント
- ☐ SERVICE PROCESSOR TOOL
- ☐ ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク
- ☐ ServerStartフロッピーディスク



#### システム設定情報の退避時に必要なもの

- ☐ BIOS Environment Support Tools



カスタムメイドサービスを利用してご購入された場合は、上記以外の品物が添付されている場合があります。  
梱包物／添付品は大切に保管してください。

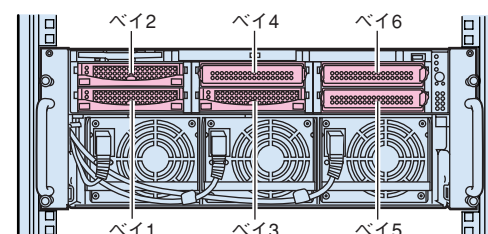
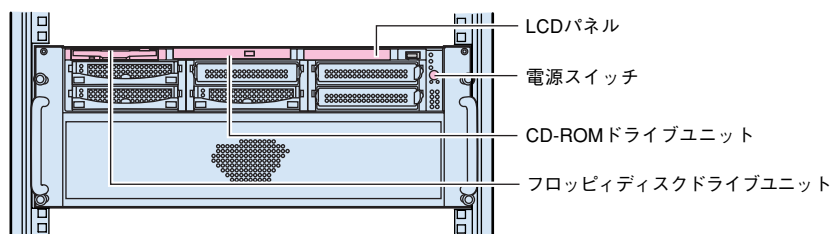
取扱説明書 >>>> 「2.1 梱包物の確認」

### 各部の名称の確認

サーバ本体前面

サーバ本体内部

3.5インチストレージベイ



## 2 設置場所を確認する

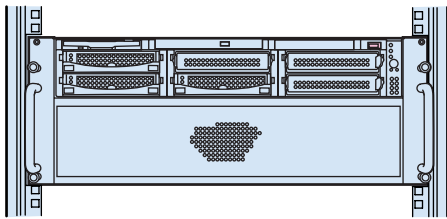
チェック欄 ☐

取扱説明書 >>> 「2.2 設置」

### 設置例

〔スリムラックの場合〕

4本のネジ（スタンダードラックの場合は2本のネジ）で固定



前面を2本のボルトで固定

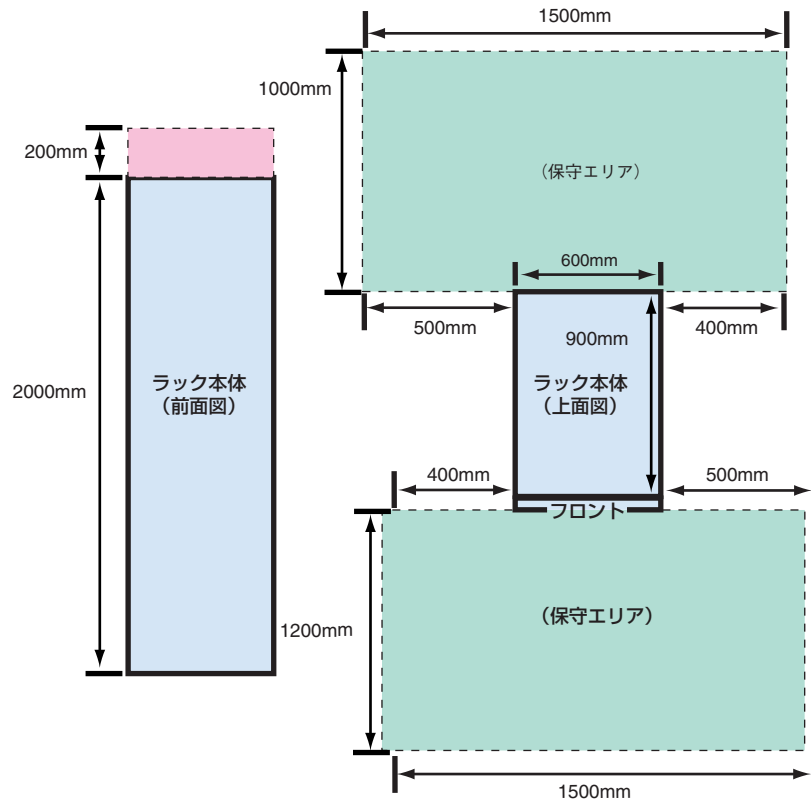
### 設置環境

温度 本サーバは、以下の環境条件を守ったうえで運用してください。環境条件を外れた設置環境での運用は、本サーバの故障や寿命を著しく短縮する原因となります。

- －温度（10～35℃）
- －湿度（20～80％）
- －塵埃（オフィス環境:0.15mg/m<sup>3</sup>）

### 設置スペース

サーバを設置するときは、以下のスペースを確保してください。40Uのスリムラックを元に記述しています。その他のラックの設置スペース、および詳細については、ラックに添付の取扱説明書を参照してください。



## 3 内蔵オプションを取り付ける

チェック欄 ☐

取扱説明書 >>> 「第5章 内蔵オプションの取り付け」

**重要** OSインストールタイプの場合、特に指示のない限りハードウェア構成を変更しないでください。ハードウェア構成を変更する場合には、開封処理後（セットアップ完了後）に行ってください。

カスタムメイドサービスをご利用になって購入された場合は、すでに内蔵オプションの取り付けおよび設定がされています。

### 準備する

内蔵オプションを取り付ける前に、以下のものを準備してください。

- ・取扱説明書
- ・『PRIMERGY ソフトウェアガイド』
- ・プラスドライバ
- ・マイナスドライバ

**重要** 内蔵オプションは、基板や半田づけした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、サーバ本体の金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。また、基板表面や半田づけの部分に触れないように、金具の部分や、基板の縁を持つようにしてください。

### 内蔵オプションの種類

ServerStartを使ってセットアップするときは、基本的な内蔵オプションはServerStartを使う前に取り付けることができます。

ただし、以下の内蔵オプションは、ServerStartを実行したあとで取り付けてください。なお、OSインストールタイプの場合は、内蔵オプションの追加はOSのセットアップが完了したあとに行ってください。

- ・OSをインストールするハードディスクユニットだけを接続してください。
- ・2GBを超えるメモリ（Windows NT Server 4.0をインストールする場合）

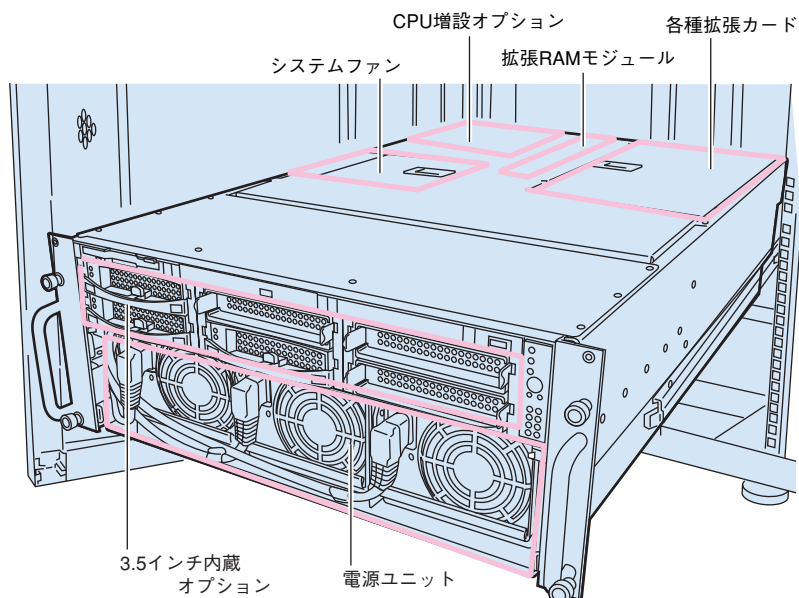
なお、ServerStartを使う前に取り付けることのできない内蔵オプションは、変更されることがありますので、以下のマニュアルを参照してください。

ServerStart >>> 『PRIMERGY ソフトウェアガイド』の「第1章 ServerStartの概要」

内蔵オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。

取扱説明書 >>> 「第5章 内蔵オプションの取り付け」

その他 >>> 「各オプション装置の取扱説明書」

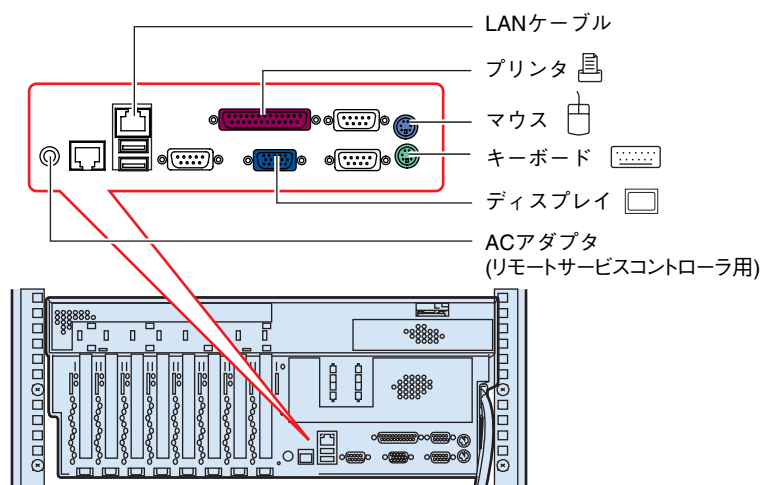


## 4 周辺装置を取り付ける

チェック欄 ☐

各周辺装置を取り付けます。

取扱説明書 >>>> 「2.3 接続方法」



**警告**



**感電** 各周辺機器を接続するときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルおよびACアダプタを本サーバから取り外してください。感電の原因となります。

## 5 電源を入れて、ハードウェアを設定する

チェック欄 ☐

**重要**

電源を入れた後すぐ、必ずServerStart CDをセットしてください。  
なおOSインストールタイプの場合で、ServerStartを使用せずにハードディスクからOSを起動してしまった場合は、絶対にセットアップをキャンセルしたり、本体の電源を切ったりしないでください。この場合でも、必ずセットアップを継続／完了させてください。ServerStartを使用せずにセットアップを継続／完了する方法については、『PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き』を参照してください。

必要に応じて、取り付けた内蔵オプションの設定／確認を、以下のユーティリティで行います。

### BIOSセットアップユーティリティ

PCIカードの設定を、BIOSセットアップユーティリティで設定／確認します。

取扱説明書 >>>> 「4.3 BIOSセットアップユーティリティを使う」

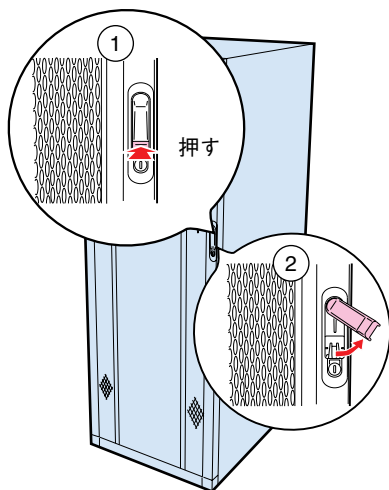
### SCSI Selectユーティリティ

使用する内蔵ハードディスクおよびインストールするOSによって、オンボードSCSIの設定を設定／確認します。

取扱説明書 >>>> 「4.4 SCSI Selectユーティリティを使う」

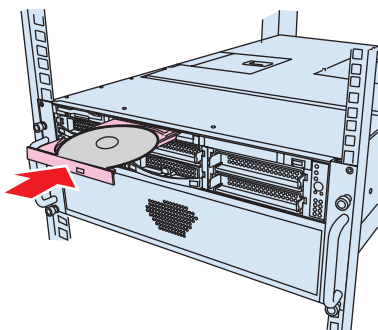
### 電源を入れる／ServerStart CDのセット

- 1 ラックドアを開けます。  
ラックキーを左側に回し、ラックハンドル下部（図中の矢印部）を押します。  
ラックハンドルが前に上がります。  
ラックハンドルを右側に回して、手前に引きます。



- 2 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

- 3 電源を入れて、ServerStart CDをセットします。  
サーバ本体前面の電源スイッチを押します。  
すぐに、CD-ROM取り出しボタン（EJECT）を押し、ServerStart CDをセットします。



この後すぐに、各ユーティリティを起動します。

### BIOSセットアップユーティリティを起動する

BIOSセットアップユーティリティは、以下の場合に行います。

ー本サーバを起動するドライブを変更する場合

取扱説明書 >>>> 「4.3.5 Mainメニュー」の「●Boot Options」

ーシリアルポートなどの働きを設定する場合

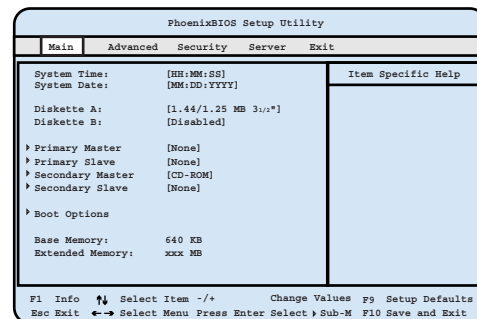
取扱説明書 >>>> 「4.3.6 Advancedメニュー」の「●Peripheral Configuration」

ーパスワードの設定をする場合

取扱説明書 >>>> 「4.3.7 Securityメニュー」

#### ■起動方法

電源を入れた後すぐに、画面に「<F2> BIOS Setup」と表示されたら、メッセージが表示されている間に、[F2]キーを押します。  
BIOSセットアップユーティリティが起動します。  
目的のメニューを選択し、[Enter]キーを押します。



### SCSI Selectユーティリティを起動する

SCSIユーティリティは、以下の場合に行います。

ー本サーバ購入時に設定値を確認する場合

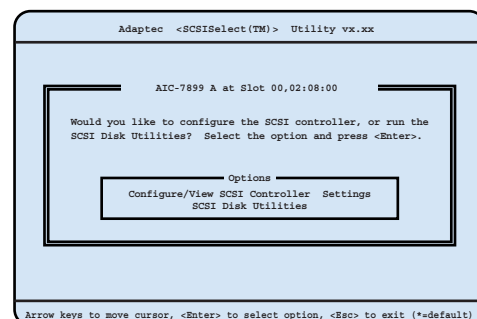
ーSCSIコントローラやSCSIオプションの設定の変更や確認を行う場合

ーSCSIオプションの物理フォーマット、または媒体検査を行う場合

取扱説明書 >>>> 「4.4 SCSI Selectユーティリティを使う」

#### ■起動方法（AIC-7899の場合）

- 1 サーバ起動時（POST実行中）に、「Press<Ctrl><A> for SCSI Select (TM) Utility!」と表示されている間に[Ctrl]+[A]キーを押します。  
Bus:Device:Channelを選択する画面が起動します。
- 2 Bus:Device:Channelを選択し、[Enter]キーを押します。  
SCSI Selectユーティリティのメインメニューが表示されます。  
目的のメニューを選択し、[Enter]キーを押します。





6

OSと必須ソフトウェアをインストールする

チェック欄 ☐

ServerStartを実行します。ServerStartを実行すると、OSの設定（OSインストールタイプ）／インストール（ディスクレスタイプ）およびシステムに必須のソフトウェア（RAS 支援サービスなど）がインストールされます。

ただし、OSインストールタイプをご購入の方は、電源を入れる前に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き』を参照し、手順に従って開封作業を行ってください。開封手順以外の方法では、OS設定が正しく行われず、予期しないトラブルが発生する場合があります。

**重要** OSをインストールする前には、メンテナンス区画を作成してください。

- 取扱説明書
- 「6.6 RAS支援サービスについて」  
「6.7 ServerViewについて」  
「PRIMERGY ソフトウェアガイド」

■起動方法

- 1 電源が入っていて、ServerStart CDがセットされていることを確認します。
- 2 ServerStartに添付の「ServerStartフロッピーディスク」を本体にセットして、[OK]をクリックします。ServerStartの画面が表示されます。画面に従って、OSの設定／インストールをします。



7

電源を切る／残ったオプションを取り付ける

チェック欄 ☐

ServerStartを使ってOSや必須ソフトウェアのインストールが終了したら、「3 内蔵オプションの取り付け」で取り付けられなかったオプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け終了後、必要であれば再度、ハードウェアの設定を行ってください。すべての内蔵オプションが接続されている場合は、手順8へ進んでください。


**重要** 以下の操作手順で電源を切ってください。操作手順に反すると、データが破壊されるおそれがあります。


■電源切断方法

- 1 フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。
- 2 OSを終了します。  
以下の場合は、OS終了後サーバ本体の電源が切れます（以降の操作は必要ありません）。  
－OSがWindows 2000 Serverの場合  
－ServerViewがインストールされている場合  
その他のOSの場合は、OSを終了し、フロッピーディスクとハードディスクのアクセス表示ランプが消えていることを確認します。
- 3 サーバ本体前面の電源スイッチを押します。
- 4 ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

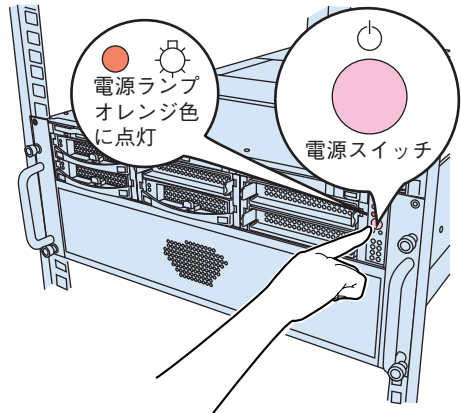
5

その後、その他の内蔵オプションの取り付けやその他の作業を行います。

**警告**

**感電**

- 内蔵オプションを取り付けるときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルおよびACアダプタをコンセントから取り外してください。感電の原因となります。
- 発煙、発火などの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。



8

システム設定情報を退避する

チェック欄 ☐

「BIOS Environment Support Tools」を用いて、システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。

- 取扱説明書
- 「4.5 BIOS設定情報の退避／復元」  
「付録B.1 コンフィグレーションシート」

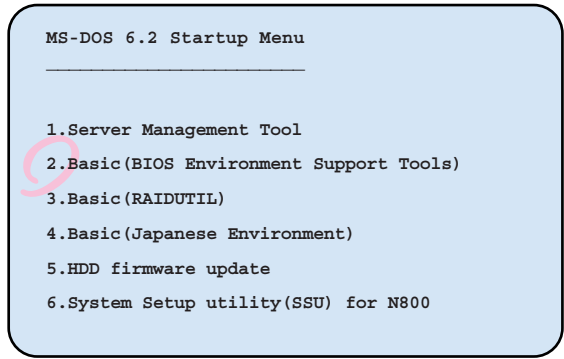
**重要** 「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」は、あらかじめServerStart CDから作成しておいてください。

- 取扱説明書
- 「A.6.1 ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクの作成方法」

■起動方法

- 1 電源を入れ、ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクをセットします。
- 2 「2.Basic(BIOS Environment Support Tools)」を選択し、[Enter]を押します。
- 3 「BIOS Environment Support Tools」ディスクをセットします。  
次のコマンドを入力し、システム設定情報を退避します。

A: \>read.bat [Enter]



9

運用開始

チェック欄 ☐

これでセットアップが終了しました。